

# 景気動向調査結果

(平成28年4月分)

長野県産業労働部

この調査は、県内企業 700 社（製造業 300 社（うち面接 65 社）、非製造業 400 社（建設業、情報サービス業、小売業・卸売業、飲食業・宿泊業））を対象に、平成 28 年 4 月末の状況（前年同期、3 か月前と比較した状況、3 か月後の状況予想）について、平成 28 年 5 月に面接又は書面により行ったものです。

なお、平成 23 年度の調査から、従来の「製造業」に、「非製造業」（建設業、情報サービス業、小売業・卸売業、飲食業・宿泊業）も加えて実施しています。

また、平成 26 年度の調査から、非製造業の調査対象企業数を従来の 600 社から 400 社に変更しています。

回答企業数は、455 社（製造業 243 社（うち面接 65 社）、非製造業 212 社）で、回答率は 65.0 パーセントでした。

※調査結果の概要は、インターネットで御覧になれます。

<http://www.pref.nagano.lg.jp/sansei/sangyo/shokogyo/toukei/kekka/index.html>

お問い合わせ先：製造業について

長野県産業労働部産業政策課（TEL 026-232-0111 内線 2918）

非製造業について

長野県産業労働部産業立地・経営支援課（TEL 026-232-0111 内線 2959）

# 平成28年4月の景気動向

## 1 総論

長野県経済は、回復に向けた動きに弱さがみられます。

製造業では、前回調査と比較して、食料品や電機などで業況の改善がみられたものの、中国などの新興国経済減速の影響等を受け、全体として4期連続のマイナスとなりました。

非製造業では、建設業や小売業・卸売業で業況が改善されたため、4期ぶりに改善しました。

## 2 製造業

### (1) 業界の業況

前年同期（27年4月）と比較したD I（業況が「好転」とする企業の割合から「悪化」とする企業の割合を引いた差）は $\Delta 36.7$ となり、前回調査時（28年1月）の $\Delta 35.9$ より0.8ポイント悪化しました。

3か月前（28年1月）と比較したD Iは $\Delta 17.9$ となり、前回調査時の $\Delta 41.0$ より23.1ポイントと大幅に改善したものの、4期連続のマイナス水準となりました。

また、3か月後（28年7月）の予想では、円高進行に伴う景気の先行き不安や中国を始めとした新興国などの海外景気の先行き不安などを背景に、D Iは $\Delta 17.4$ となりました。

なお、熊本地震に関しては、自動車関連企業など一部の企業において、部品の供給のストップなどの影響がみられました。

### 〔主な業種の動き〕

ア 電機・電子では、パソコン関連は弱さがみられるほか、スマートフォン向けの需要に一服感がみられます。プリンターは、国内需要が減少しているものの、新興国を中心とした安定した海外需要が継続したことにより、受注、生産は堅調に推移しています。半導体関連、抵抗器・コンデンサ、モーター等は、自動車関連向けを中心に受注、生産が堅調に推移しているものの、一部に新興国経済減速の影響などがみられます。

イ 一般機械では、設備投資の回復基調の一服感や新興国経済減速の影響がみられることから、自動車関連向けや半導体関連向けは、弱含んでいます。建設機械は、国内向けは受注、生産の一部に弱さがみられるものの、海外向けは北米向けなどの受注、生産が堅調に推移しています。

ウ 精密では、時計は一部に一服感がみられるものの、高価格帯製品を中心に受注、生産が堅調に推移しています。レンズは、自動車関連向けは受注、生産が堅調に推移しているものの、プロジェクター向けなどの高付加価値製品の一部には一服感もみられます。計器は、圧力計は自動車向けや産業機械向けの受注、生産が弱含んでいるものの、LPガスメーターは季節的要因により受注、生産の増加がみられます。

エ 自動車部品では、海外向けは北米などで受注、生産が堅調に推移しているものの、新興国向けや国内向けの一部には弱さもみられます。

オ 食料品では、味そは季節的要因等により、3か月前と比べ受注、生産の増加がみられます。酒類は消費の低迷により引き続き低調に推移しているものの、一部に受注、生産の増加がみられます。飲料は季節的要因等により、ペットボトル飲料を中心に受注、生産の増加がみられます。

## (2)受注引合

前年同期比では、「増加」とする企業が18.6%と前回(16.9%)より増加し、「減少」とする企業が45.9%と前回(43.6%)より増加した結果、D Iは前回(△26.7%)からやや悪化し、△27.3となりました。

3か月前との比較では、「増加」とする企業が25.3%と前回(13.6%)より増加し、「減少」とする企業が30.3%と前回(45.8%)より減少した結果、D Iは前回(△32.2)より大幅に改善し、△5.0となりました。

3か月後の予想については、「増加」とする企業が13.7%、「減少」とする企業が26.6%となった結果、D Iは前回予想(△5.1)より悪化し、△12.9となりました。

## (3)生産量

前年同期比では、「増加」とする企業が20.4%と前回(18.1%)より増加し、「減少」とする企業が45.0%と前回(48.3%)より減少した結果、D Iは前回(△30.2)から改善し、△24.6となりました。

3か月前との比較では、「増加」とする企業が25.2%と前回(14.7%)より増加し、「減少」とする企業が32.4%と前回(45.8%)より減少した結果、D Iは前回(△31.1)より大幅に改善し、△7.2となりました。

3か月後の予想については、「増加」とする企業が16.7%、「減少」とする企業が26.8%となった結果、D Iは前回予想(△6.3)より悪化し、△10.1となりました。

## (4)製品販売価格

前年同期比では、「高い」とする企業が5.4%と前回(7.1%)より減少し、「安い」とする企業が29.3%と前回(26.5%)より増加した結果、D Iは前回(△19.4)より悪化し、△23.9となりました。

3か月前との比較では、「高い」とする企業が2.5%と前回(2.1%)よりやや増加し、「安い」とする企業が15.8%と前回(14.7%)より増加した結果、D Iは前回(△12.6)よりやや悪化し、△13.3となりました。

3か月後の予想については、「高い」とする企業が1.7%、「安い」とする企業が13.7%となった結果、D Iは前回予想(△14.7)より改善し、△12.0となりました。

## (5)資金繰り

前年同期比では、「らく」とする企業が10.1%と前回(6.5%)より増加し、「苦しい」とする企業が18.6%と前回(21.6%)より減少した結果、D Iは前回(△15.1)より改善し、△8.5となりました。

3か月前との比較では、「らく」とする企業が7.6%と前回(3.9%)より増加し、「苦しい」とする企業が11.9%と前回(17.3%)より減少した結果、D Iは前回(△13.4)より改善し、△4.3となりました。

3か月後の予想については、「らく」とする企業が4.3%、「苦しい」とする企業が20.4%となった結果、D Iは前回予想(△12.6)より悪化し、△16.1となりました。

## (6)収益率

前年同期比では、「上昇」とする企業が16.9%と前回(14.3%)より増加し、「低下」とする企業が42.4%と前回(43.3%)よりやや減少した結果、D Iは前回(△29.0)より改善し、△25.5となりました。

3か月前との比較では、「上昇」とする企業が13.3%と前回(7.6%)より増加し、「低下」とする企業が28.2%と前回(35.3%)より減少した結果、D Iは前回(△27.7)より改善し、△14.9となりました。

3か月後の予想については、「上昇」とする企業が9.2%、「低下」とする企業が25.8%となった結果、D Iは前回予想(△11.8)より悪化し、△16.6となりました。

## (7) 製造業の業種別動向

### 電機・電子

- (コンピュータ・情報機器) パソコン関連は弱さがみられるほか、スマートフォン向けの需要に一服感がみられます。プリンターは、国内需要が減少しているものの、新興国を中心とした安定した海外需要が継続したことにより、受注、生産は堅調に推移しています。
- (半導体関連) 自動車関連向けは、海外需要にけん引され堅調に推移しているものの、中国など新興国経済減速の影響などから、デジタル家電向けや産業用途では受注、生産が弱含んでいます。
- (プリント基板) 情報機器では、スマートフォン向けに一服感がみられます。
- (抵抗器・コンデンサ等) 自動車関連向けでは、海外向けを中心に受注、生産が堅調に推移しているほか、家電向けの一部で、需要の増加により受注、生産に持ち直しがみられます。また、エネルギー関連向けでは受注、生産が低調に推移しています。
- (モーター等) 家電向けの一部で、中国など新興国経済の減速の影響などにより受注、生産が弱含んでいます。産業用途や自動車関連向けでは一部に一服感もみられます。
- (その他) カーナビゲーションは、北米で続く好調な需要により受注、生産が堅調に推移しているものの、国内向けの一部には弱さもみられます。電源関連は、一部に需要の増加がみられるものの、低調に推移しています。

### 一般機械

- (工作機械) 設備投資の回復基調の一服感や新興国経済減速の影響がみられることから、自動車関連向けや半導体関連向けは弱含んでいます。
- (金型) 自動車関連向けでは、国内需要の減少により受注、生産の一部に弱さがみられます。
- (建設機械) 国内向けは受注、生産の一部に弱さがみられるものの、海外向けは北米向けなどの受注、生産が堅調に推移しています。
- (農業用機械等) 国内向けでは季節的要因等により受注、生産の一部に持ち直しがみられるものの、北米や欧州の海外向けで受注、生産の一部に弱さがみられます。

精 密 (時 計)	腕時計は、一部に一服感がみられるものの、高価格帯製品を中心に受注、生産が堅調に推移しています。
(レ ン ズ)	自動車関連向けは受注、生産が堅調に推移しているものの、プロジェクター向けなどの高付加価値製品の一部には一服感もみられます。
(計 器)	圧力計は、自動車向けや産業機械向けの受注、生産が弱含んでいるものの、LP ガスメーターは、季節的要因により受注、生産の増加がみられます。
自 動 車 部 品	海外向けは、北米などで受注、生産が堅調に推移しているものの、新興国向けや国内向けの一部には弱さもみられます。
食 料 品 (味 そ)	季節的要因等により、3 か月前と比べ受注、生産の増加がみられます。
(酒 類)	清酒、ワインは、消費の低迷により引き続き低調に推移しているものの、一部に受注、生産の増加がみられます。
(飲 料)	季節的要因等により、ペットボトル飲料を中心に受注、生産の増加がみられます。
織 維 ・ 衣 服	ワイシャツは、季節的要因等により受注、生産の増加がみられません。
紙 ・ パルプ	ダンボールは、季節的要因等により、農産物向けで受注、生産の増加がみられます。
印 刷	季節的要因等により受注、生産の増加がみられますが、印刷・製本の需要の低迷により、引き続き低調に推移しています。
そ の 他	プラスチック成型部品は、スマートフォン向けで、受注、生産に一服感がみられます。

### 業界の業況

前年同期（27年4月）と比較した業況D Iは $\Delta 28.4$ となり、前回調査時（28年1月）の $\Delta 31.8$ から3.4ポイント改善しました。

3か月前（28年1月）と比較した業況D Iは $\Delta 7.3$ となり、前回調査時の $\Delta 39.0$ と比較すると31.7ポイント改善しました。

なお、3か月後（28年7月）の予想は、業況D Iが $\Delta 19.4$ と前回調査時の $\Delta 15.9$ と比較すると3.5ポイント悪化する見通しです。

### 〔各業種の動き〕

#### ア 建設業

建設業では、公共工事の受注量の減少などにより客数（受注件数）D Iが前回を下回ったものの、売上高D Iが持ち直したことから、業況D Iは、 $\Delta 41.9$ と前回（ $\Delta 47.1$ ）より改善しました。

3か月後も、公共工事の受注競争が続くとみられ、業況D Iはほぼ同水準で推移すると予想されます。

#### イ 情報サービス業

情報サービス業では、客数（受注件数）の底堅さがみられるものの、売上高や収益率のD Iの悪化などにより、業況D Iは0.0と前回（41.7）より大幅に悪化しました。

3か月後は、価格競争や、人手不足による人件費の増加などから、業況D Iの低下が予想されます。

#### ウ 小売業・卸売業

小売業・卸売業では、業況D Iが $\Delta 30.5$ となり4期ぶりに改善しました。

小売業では、食料品など生活必需品の売り上げが堅調なことなどから、業況D Iは、前回より改善しました。3か月後は、価格競争や、人手不足による人件費の増加などから、厳しい収益環境が続くことが見込まれ、業況D Iはマイナス水準で推移することが予想されます。

卸売業では、販売価格D Iの悪化などにより、業況D Iは、前回より悪化しました。また、3か月後も、販売価格の低下や客数の減少による収益面への影響が懸念され、業況D Iの低下が予想されます。

#### エ 飲食業・宿泊業

飲食業・宿泊業では、業況D Iが $\Delta 12.9$ と前回（ $\Delta 8.1$ ）より悪化しました。

飲食業では、前年の善光寺御開帳に伴う売上増加の反動減等による客数（受注件数）、売上高、販売価格のD Iの悪化などにより、業況D Iは、前回より悪化しました。3か月後も、人手不足による人件費の増加などから、業況D Iの低下が予想されます。

宿泊業では、前年の新幹線延伸等による観光客増加の反動減などにより、業況D Iは前回より悪化しました。3か月後は、大河ドラマ「真田丸」効果などによる観光客の増加が期待され、業況D Iの改善が予想されます。

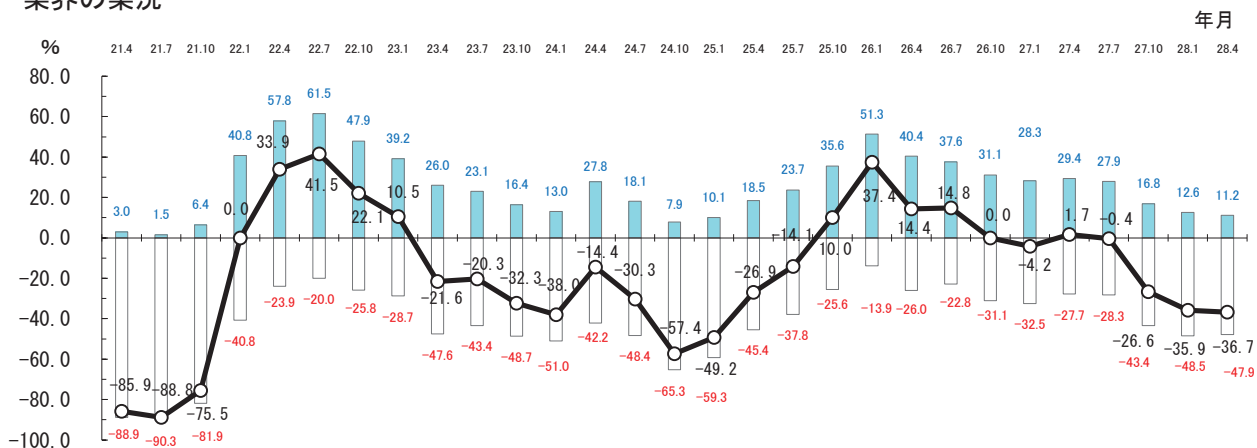
# 景気動向調査集計結果

(注)棒グラフのプラス側は好転（増加、上昇）の企業の割合、マイナス側は悪化（減少、低下）の企業の割合です。  
折れ線グラフ（D I）は好転（増加、上昇）の企業の割合から悪化（減少、低下）の企業の割合を引いた差です。

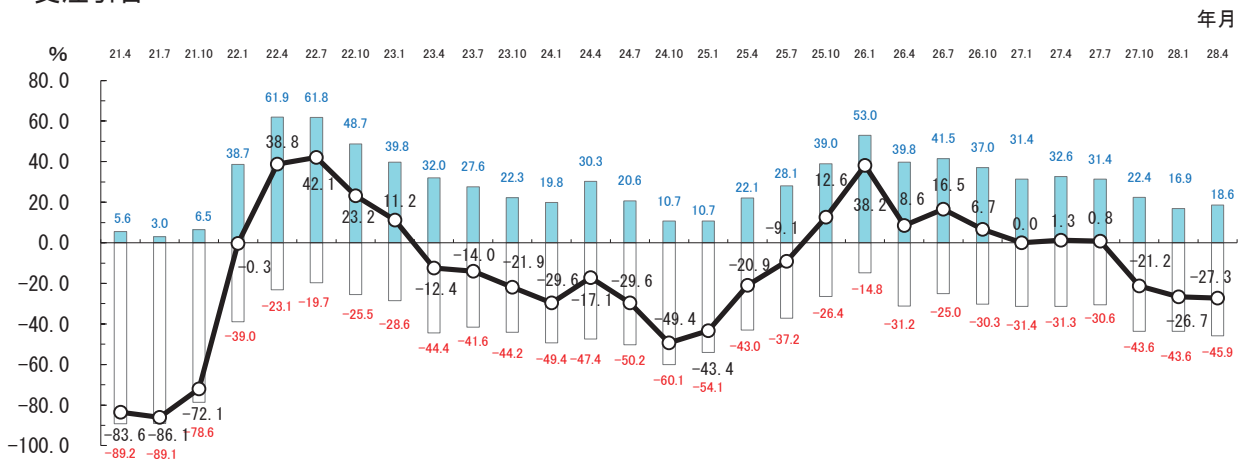
## 1 製造業

### (1) 前年同期に比べて

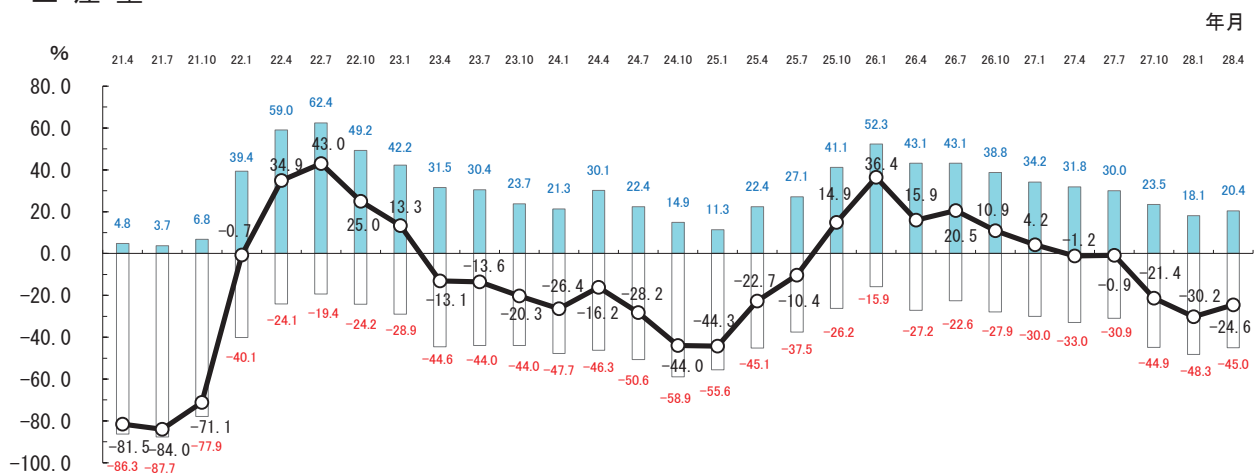
#### 業界の業況



#### 受注引合



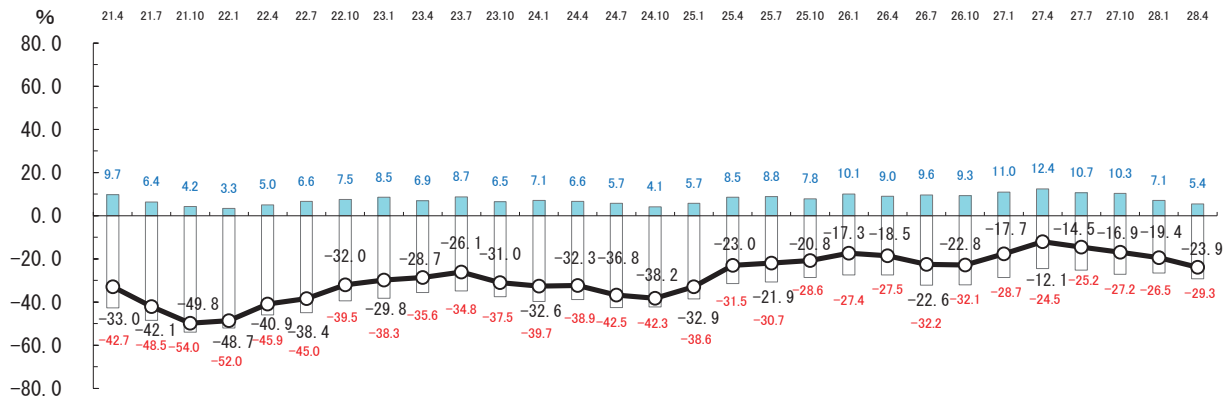
#### 生産量





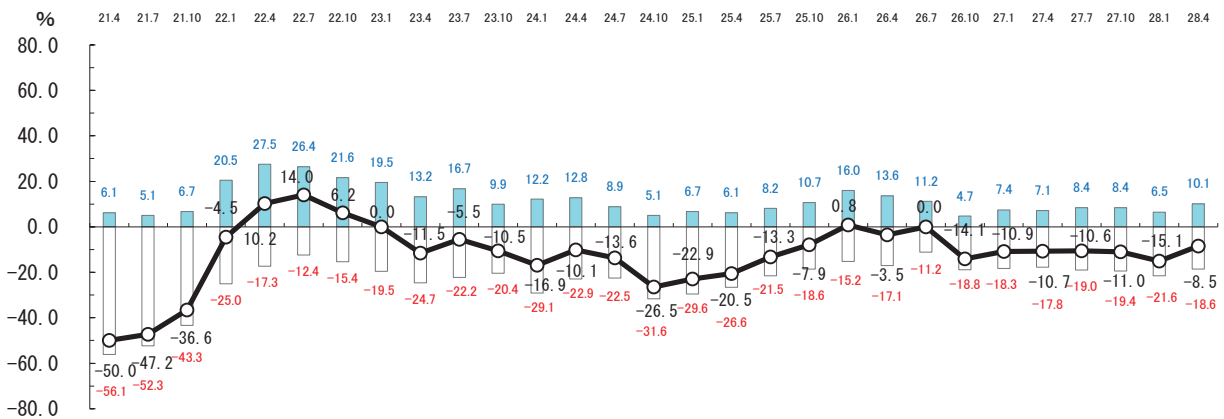
### 製品販売価格

年月



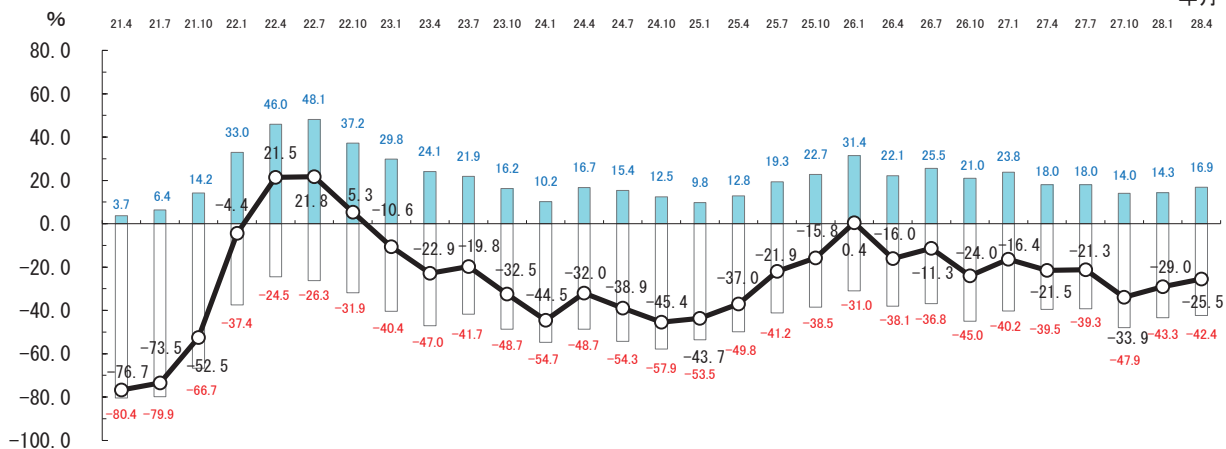
### 資金繰り

年月



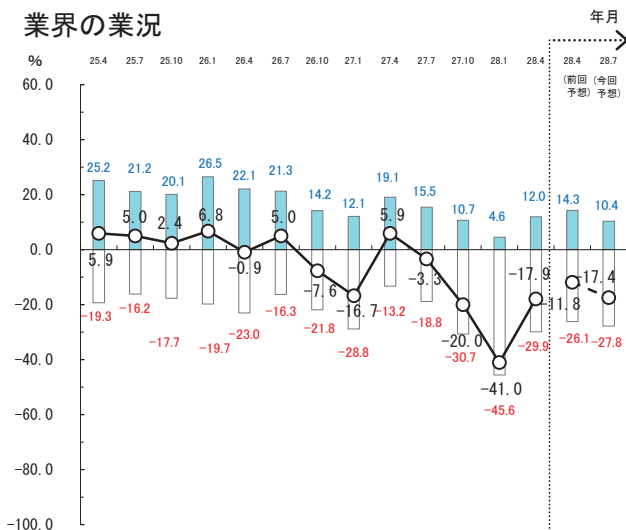
### 収益率

年月

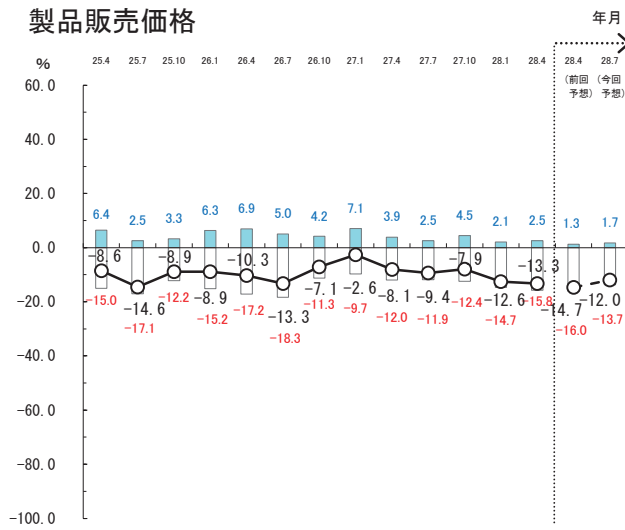


(2) 3か月前に比べて及び3か月後の予想

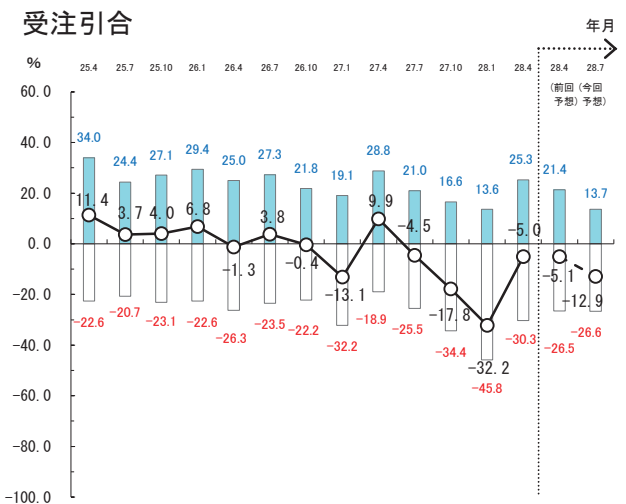
業界の業況



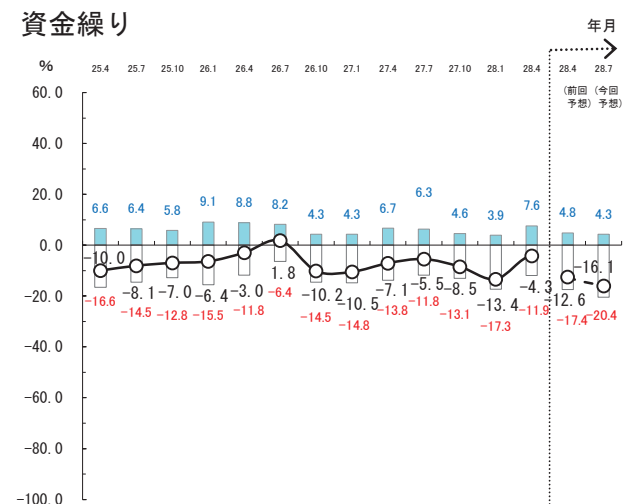
製品販売価格



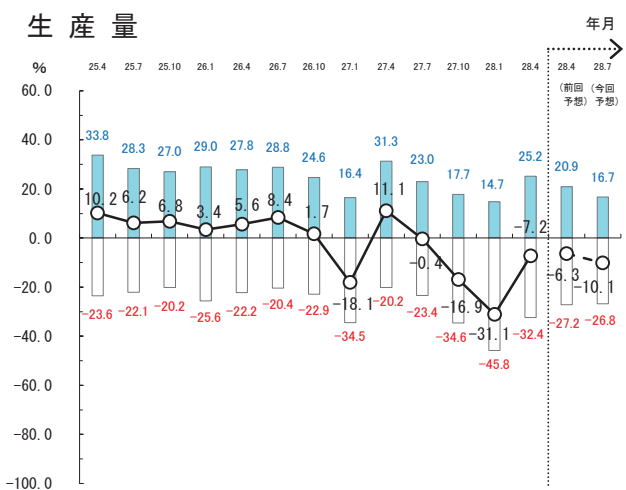
受注引合



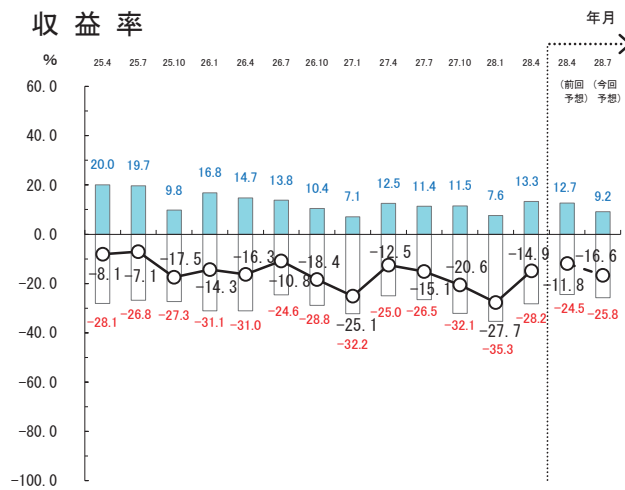
資金繰り



生産量



収益率

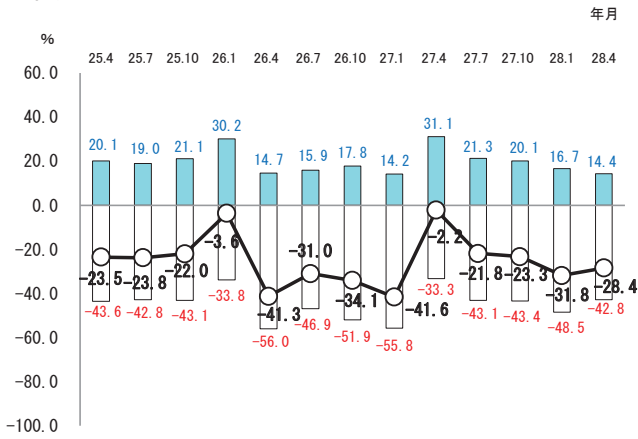


## 2 非製造業

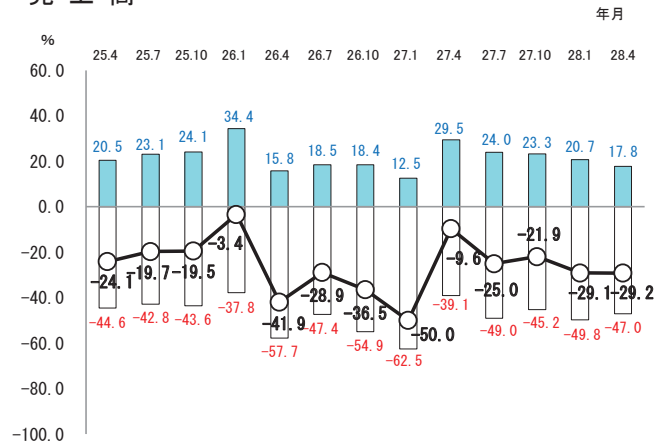
### (1) 前年同期に比べて

#### 非製造業全体

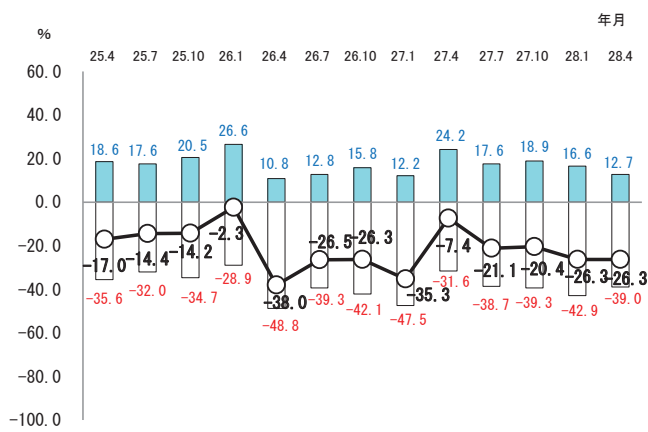
##### 業況



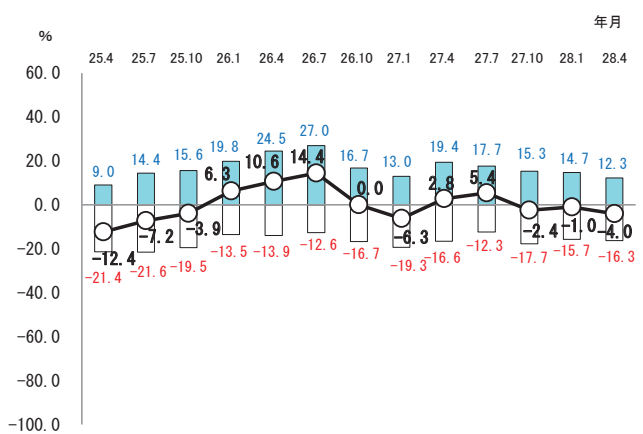
##### 売上高



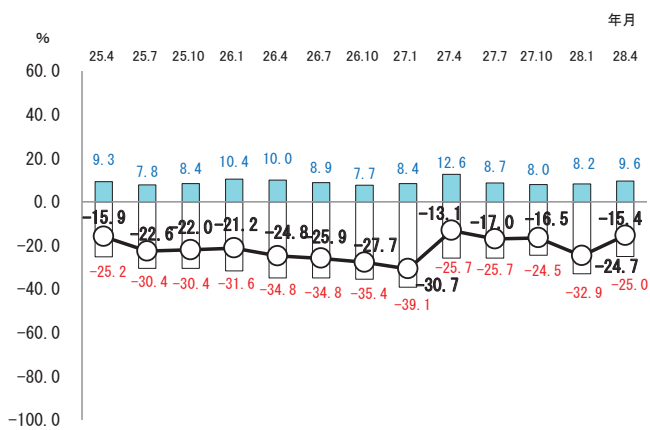
##### 客数 (受注件数)



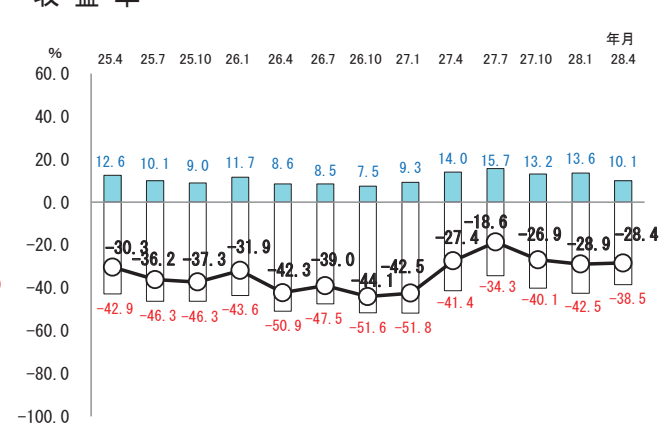
##### 販売価格



##### 資金繰り

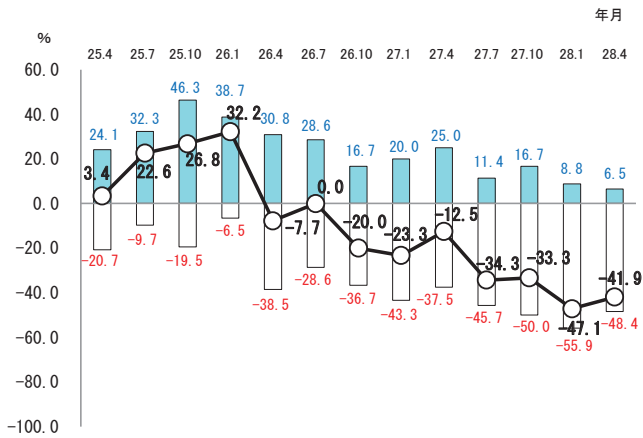


##### 収益率

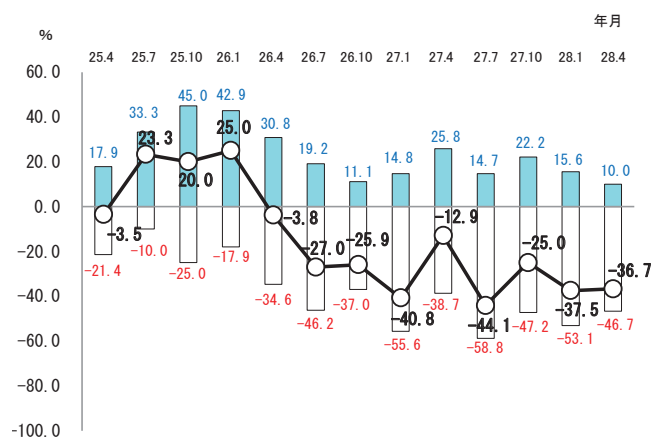


## ア 建設業

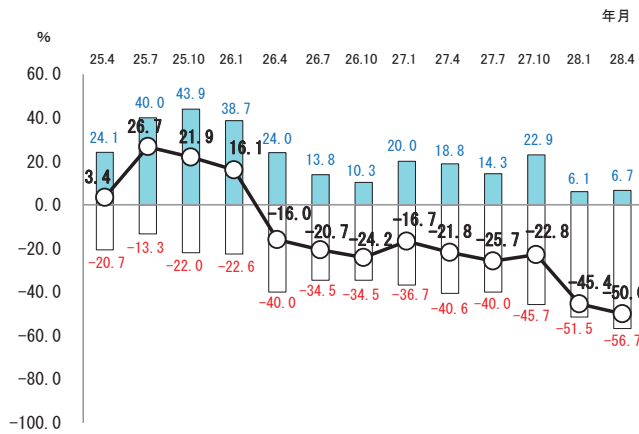
### 業況



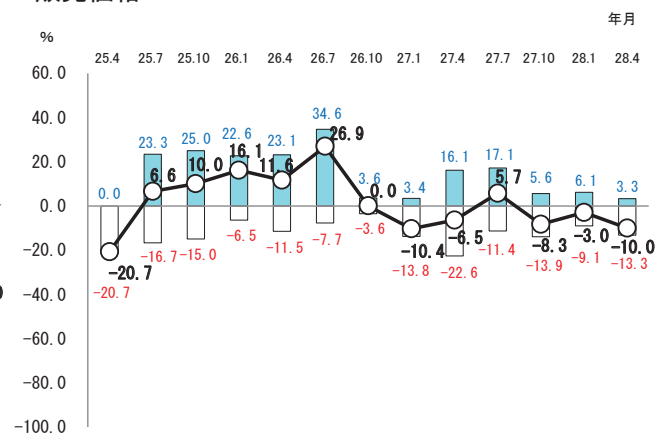
### 売上高



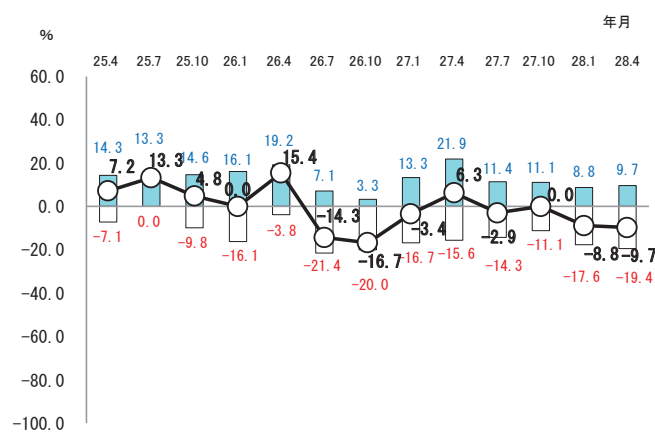
### 客数 (受注件数)



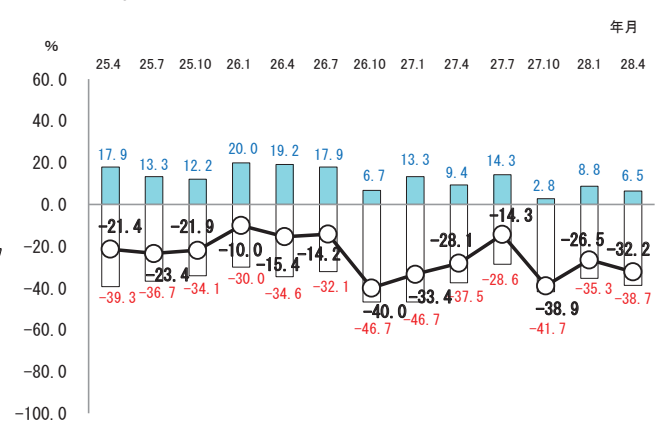
### 販売価格



### 資金繰り

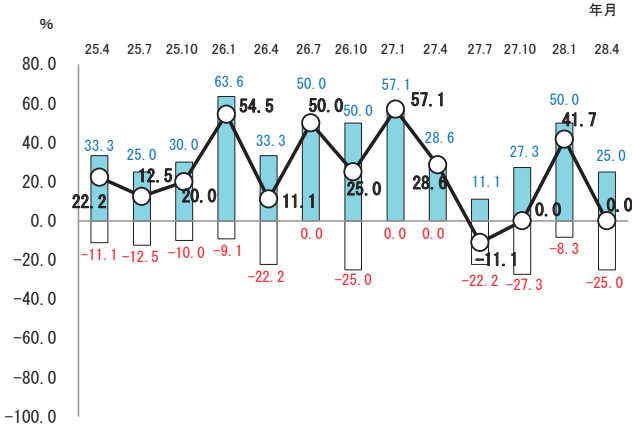


### 収益率

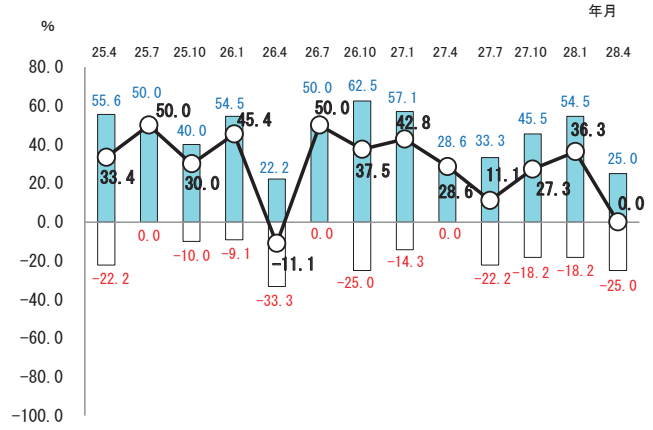


# イ 情報サービス業

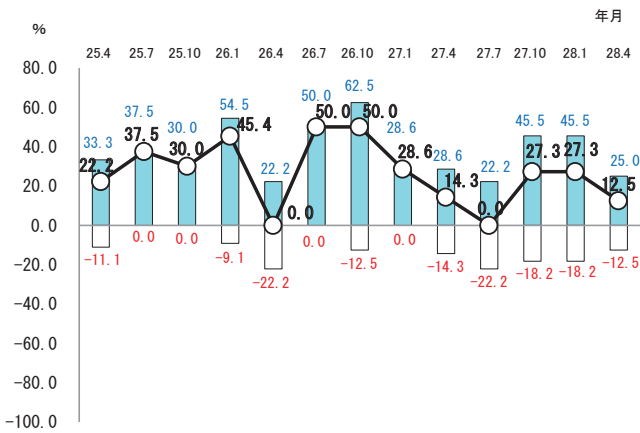
## 業況



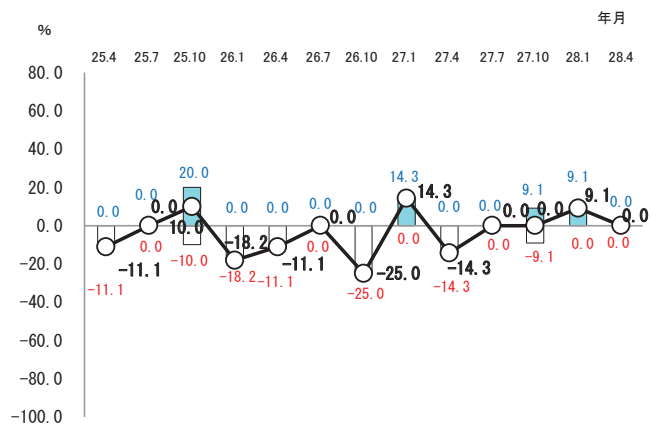
## 売上高



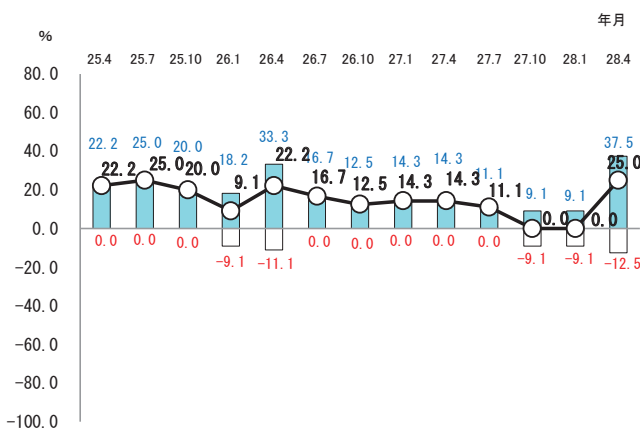
## 客数 (受注件数)



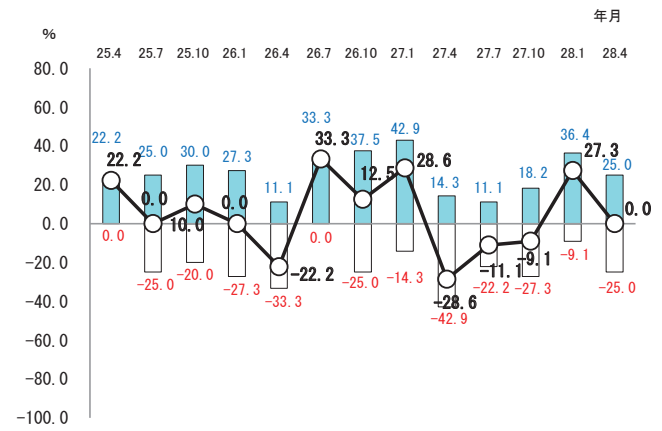
## 販売価格



## 資金繰り

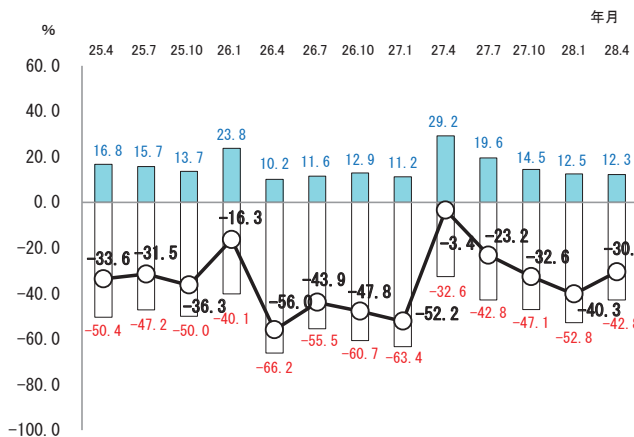


## 収益率

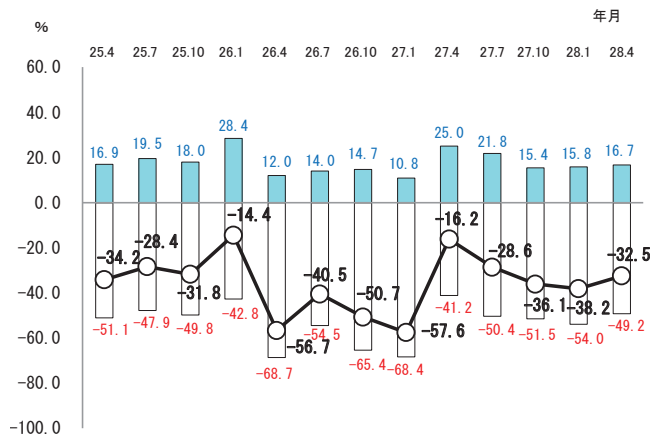


## ウ 小売業・卸売業

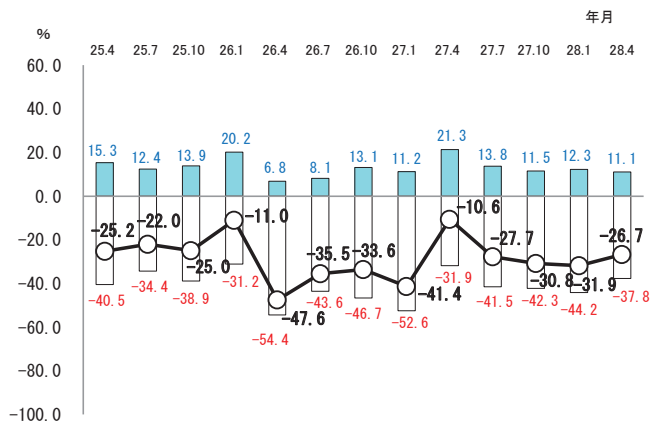
### 業況



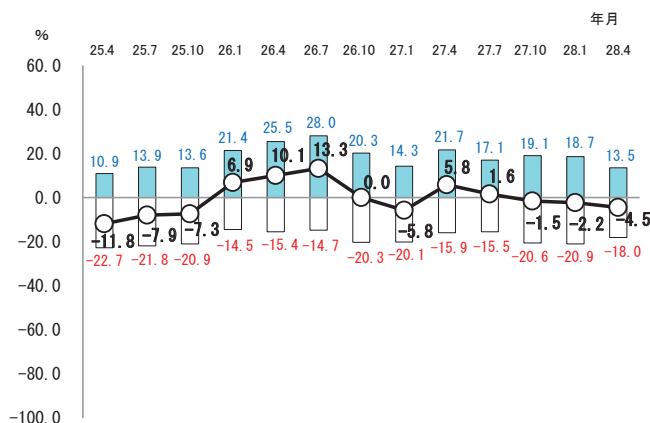
### 売上高



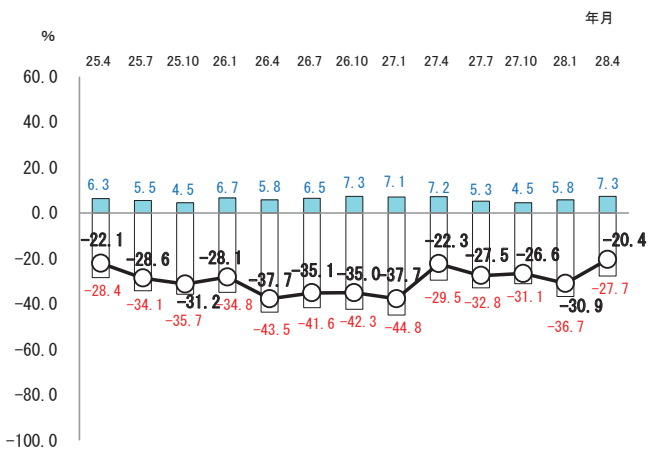
### 客数 (取引先数)



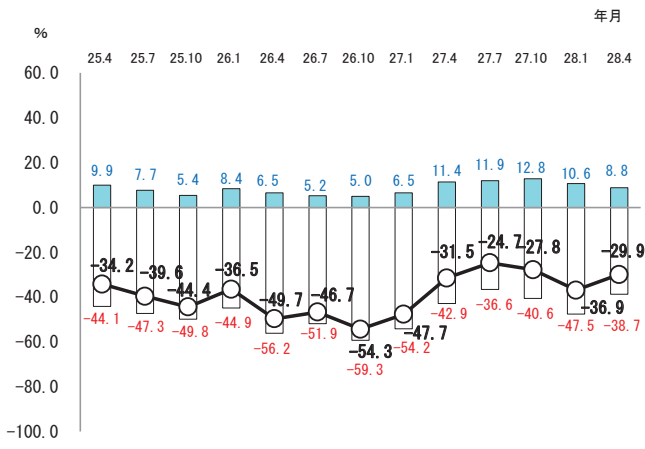
### 販売価格



### 資金繰り

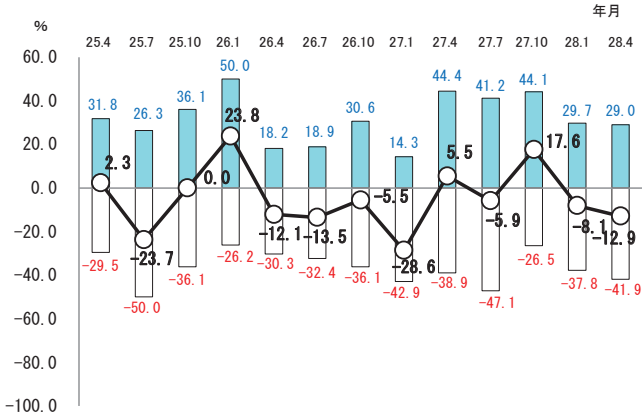


### 収益率

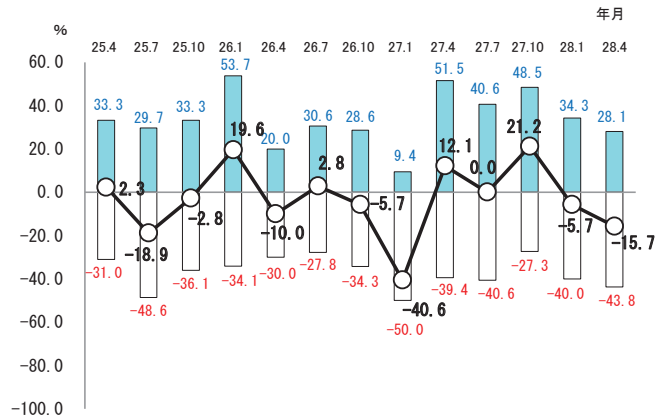


# 工 飲食業・宿泊業

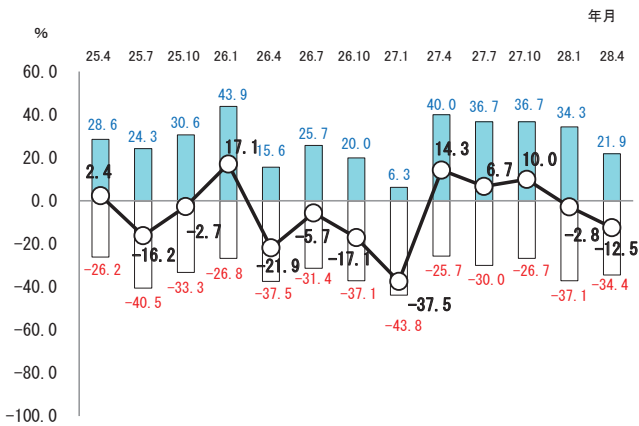
## 業況



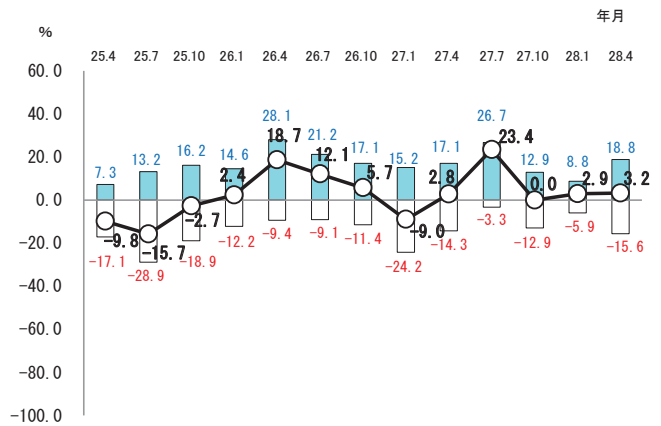
## 売上高



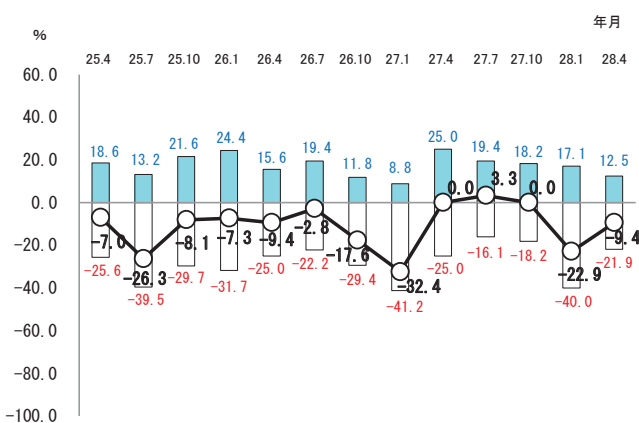
## 客数



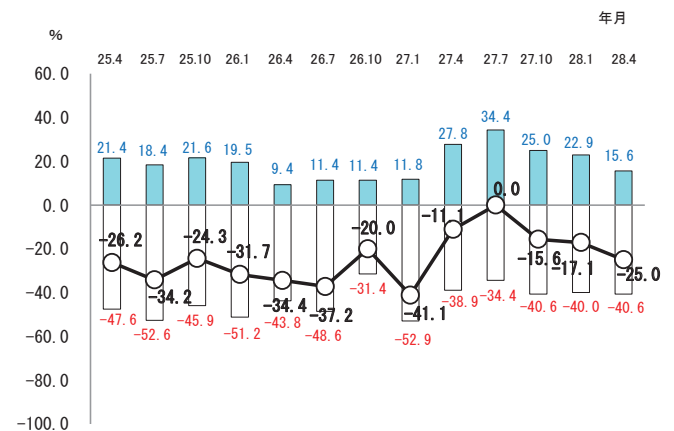
## 販売価格



## 資金繰り



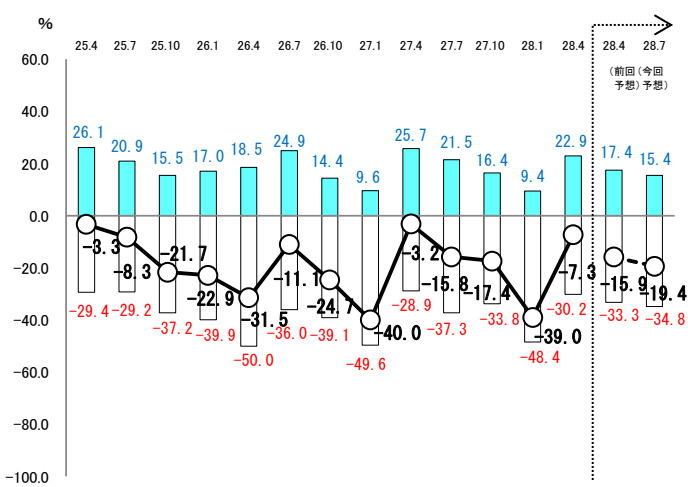
## 収益率



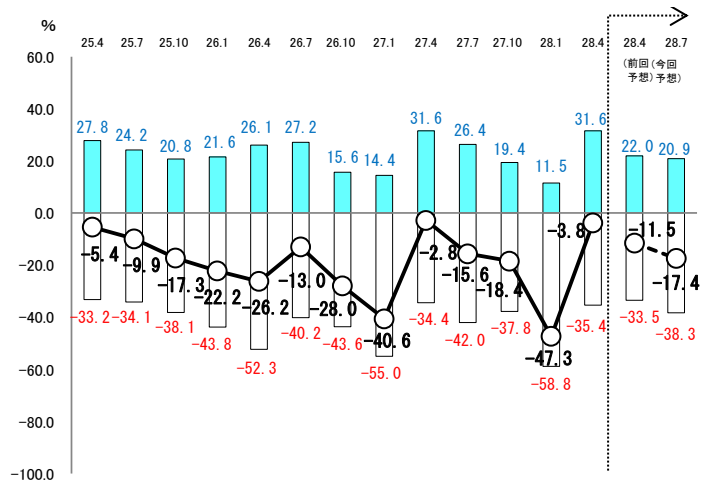
(2) 3か月前に比べて及び3か月後の予想

非製造業全体

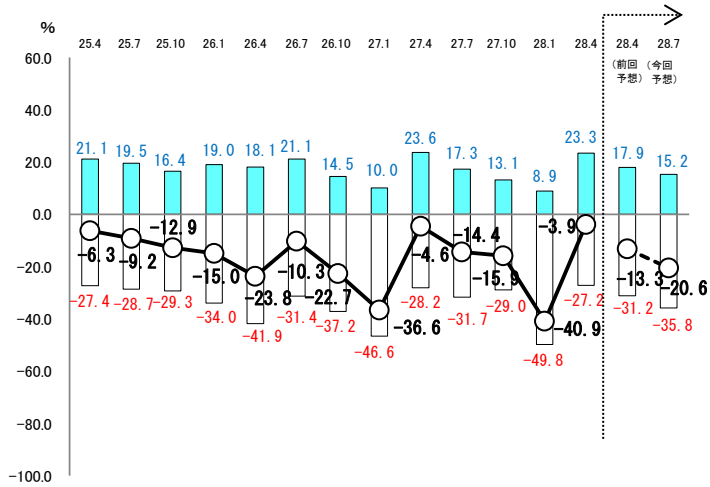
業況



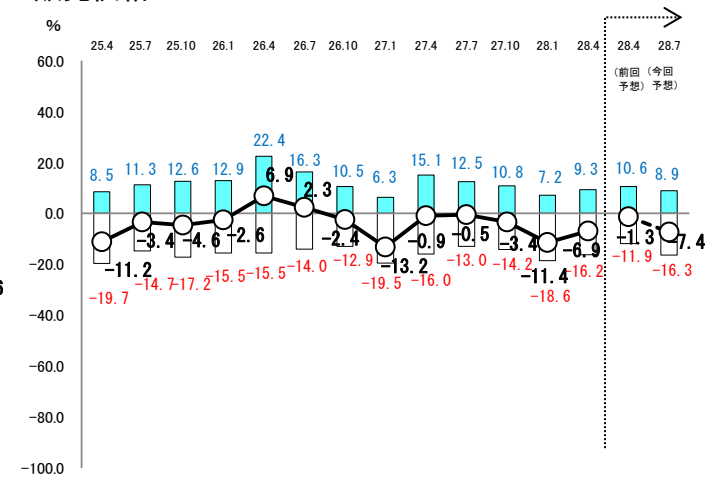
売上高



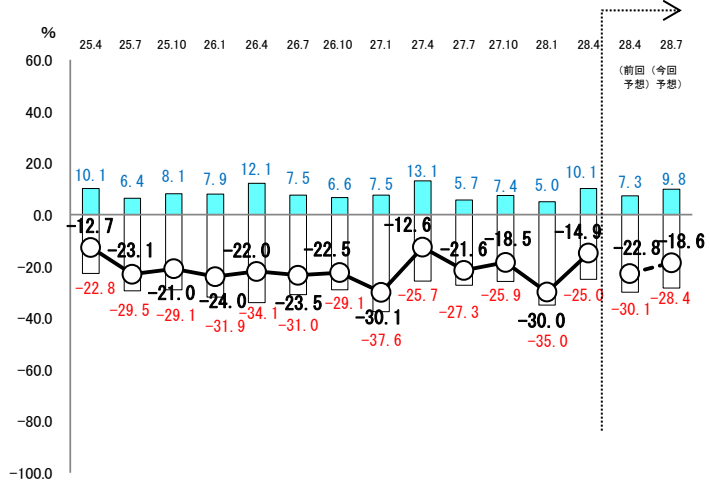
客数 (受注件数)



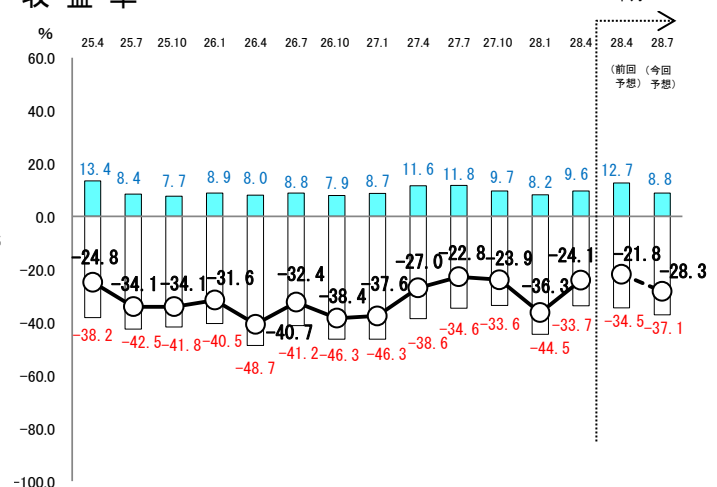
販売価格



資金繰り



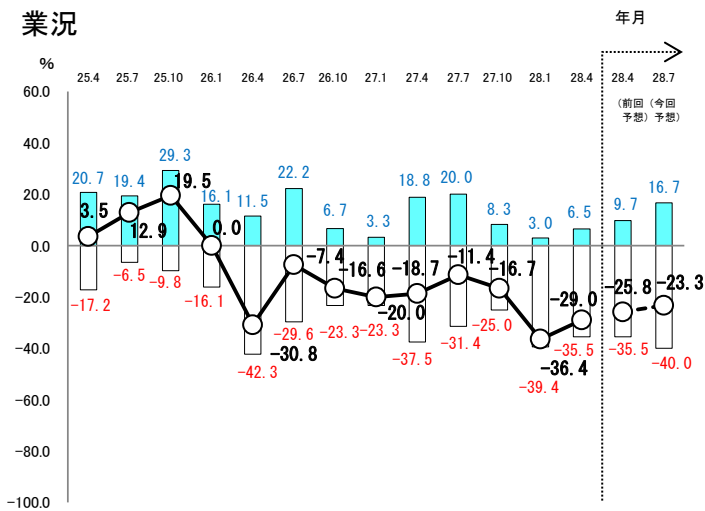
収益率



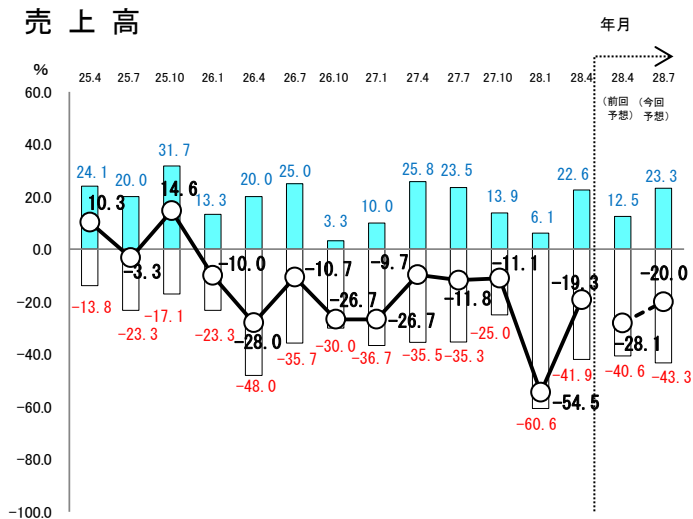


# ア 建設業

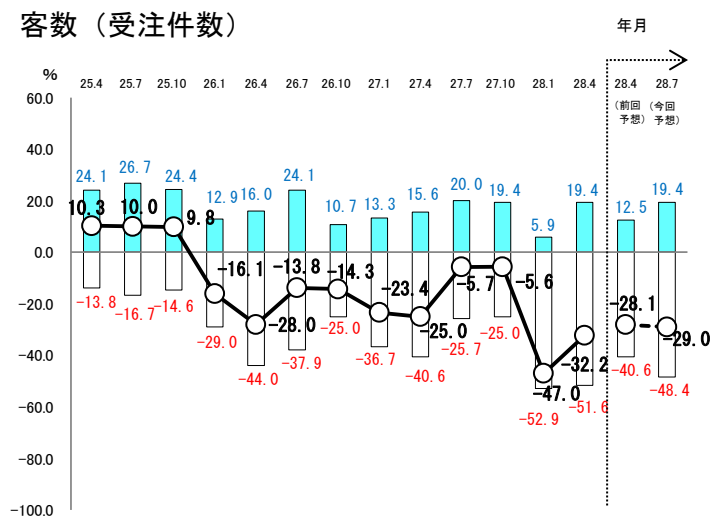
## 業況



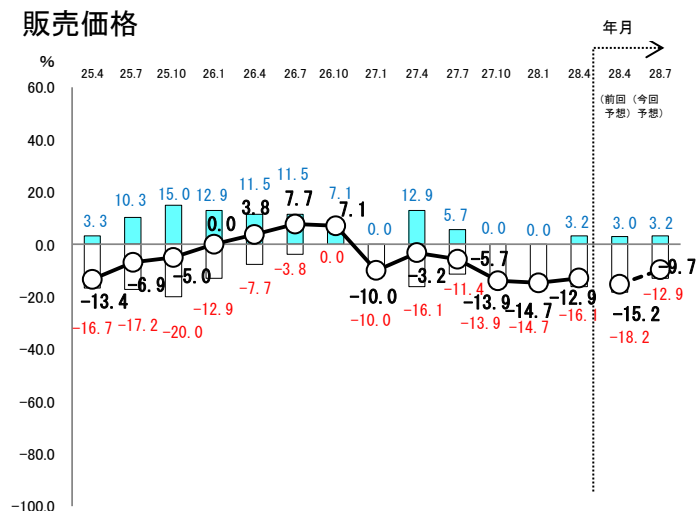
## 売上高



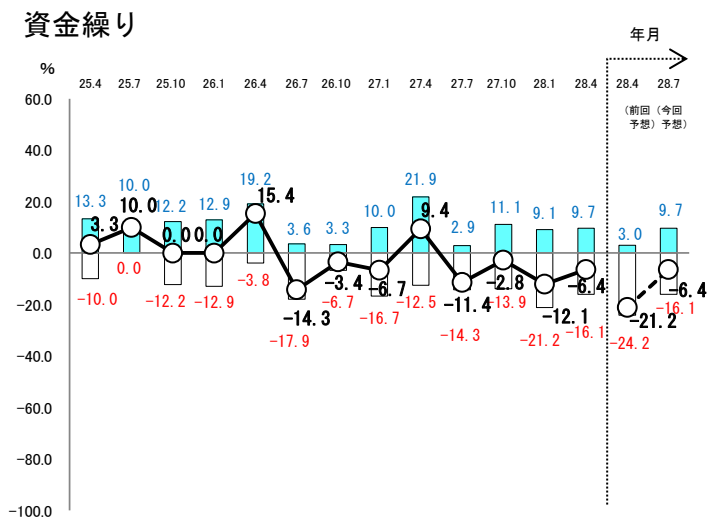
## 客数 (受注件数)



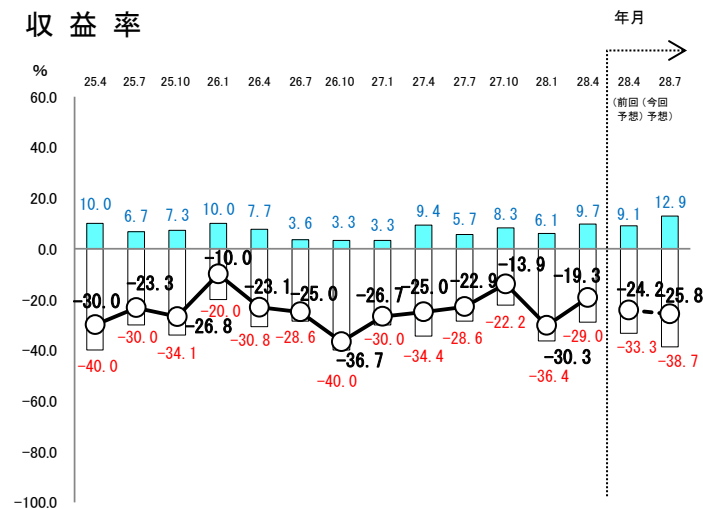
## 販売価格



## 資金繰り

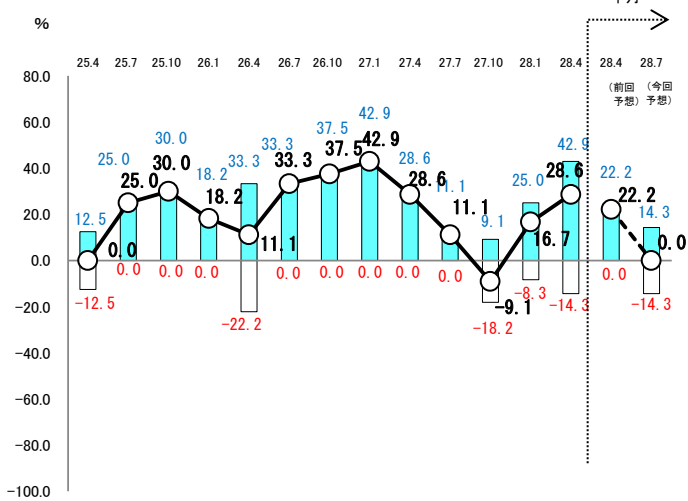


## 収益率

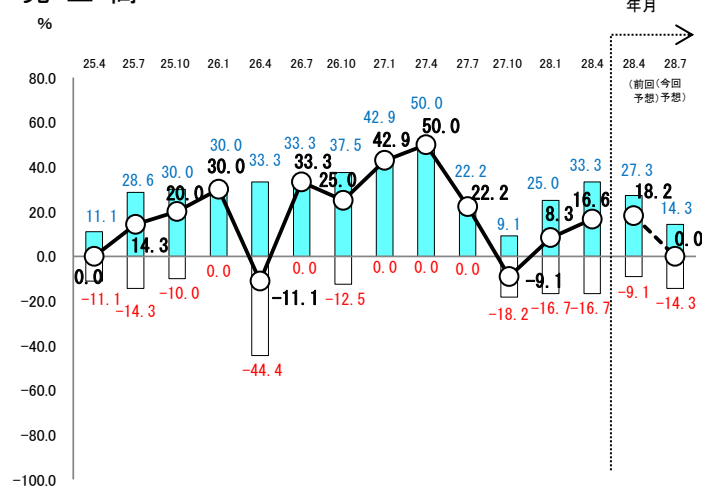


# イ 情報サービス業

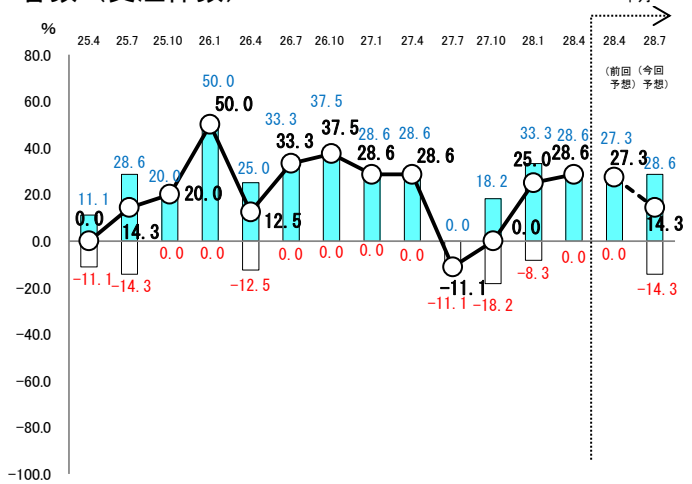
## 業況



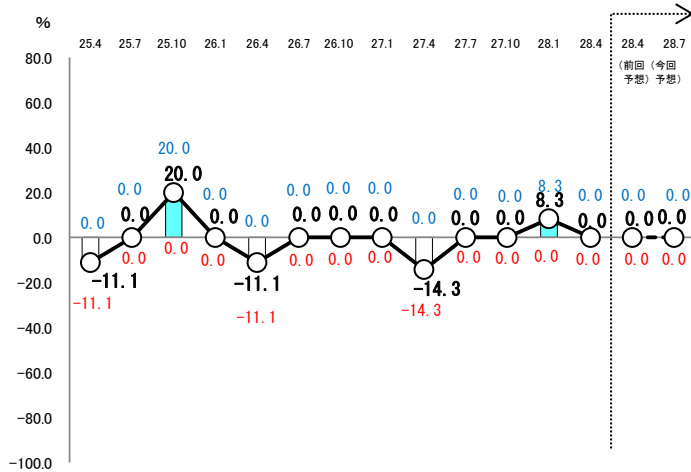
## 売上高



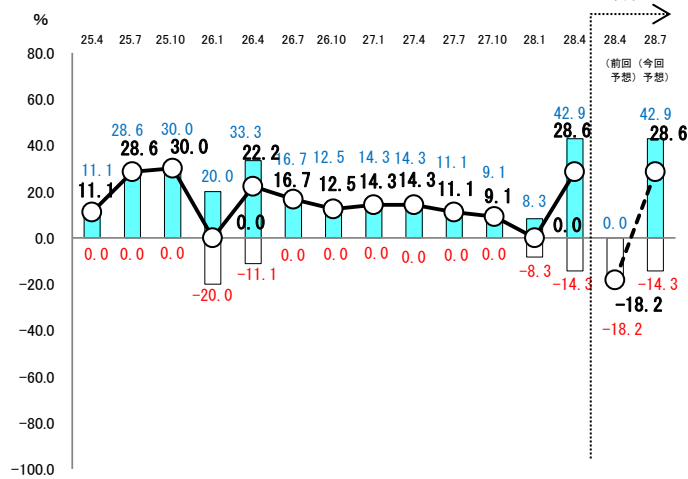
## 客数 (受注件数)



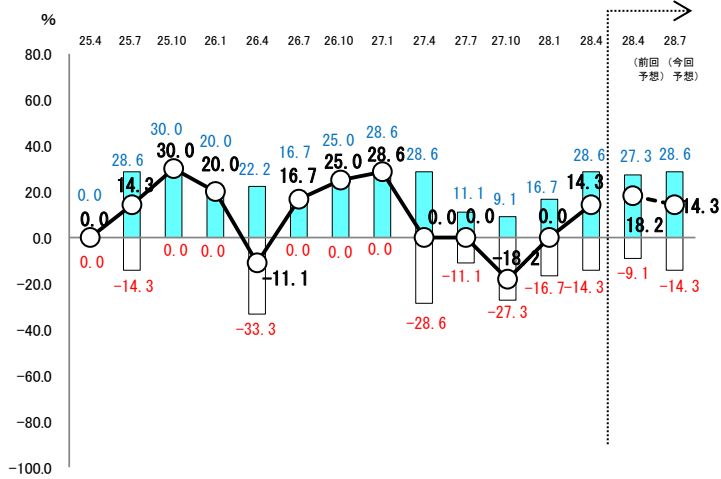
## 販売価格



## 資金繰り

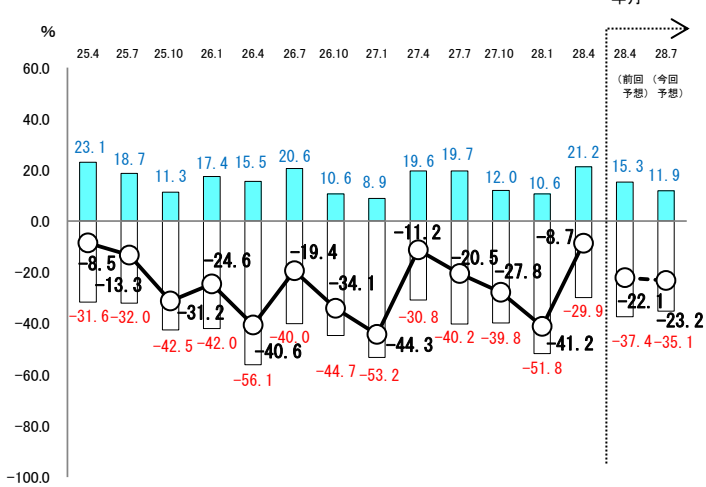


## 収益率

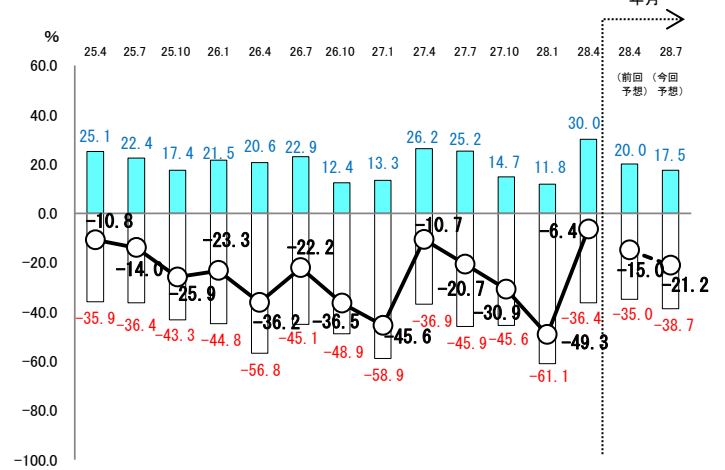


# ウ 小売業・卸売業

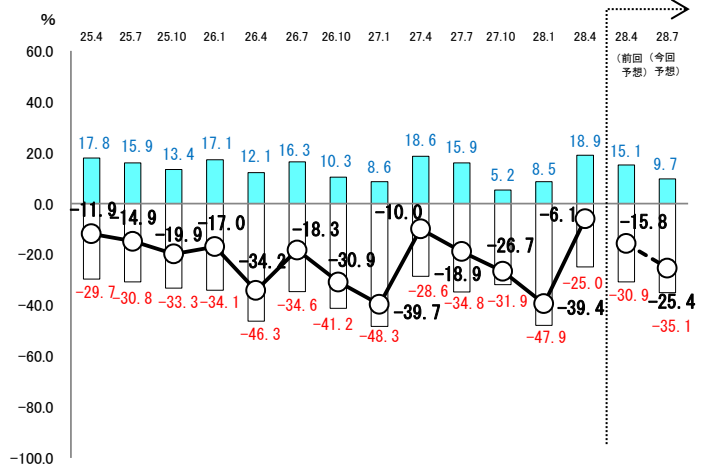
## 業況



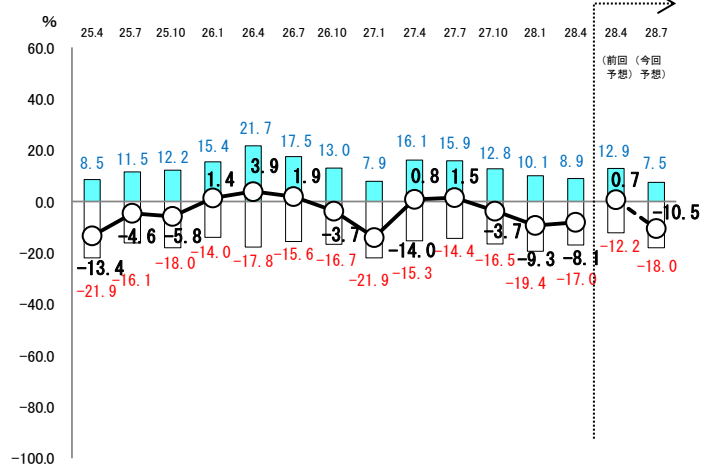
## 売上高



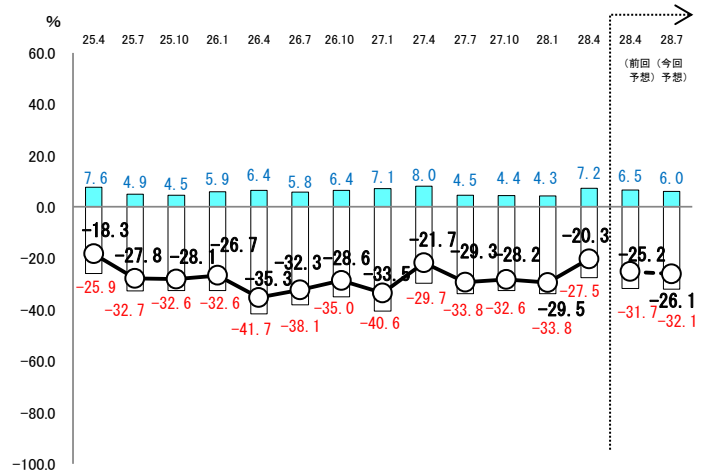
## 客数 (取引先数)



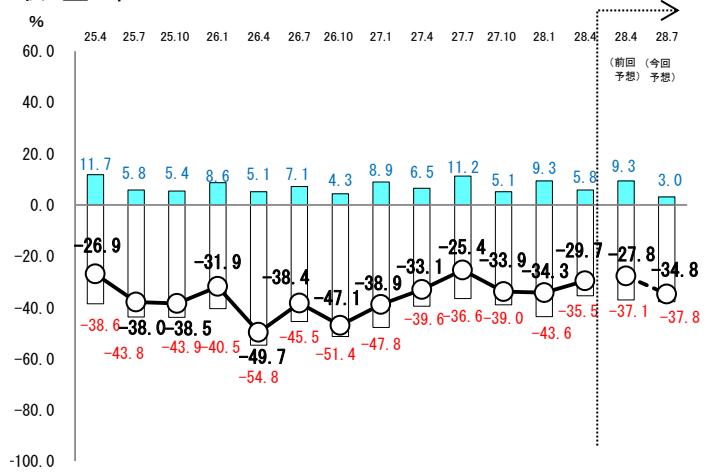
## 販売価格



## 資金繰り

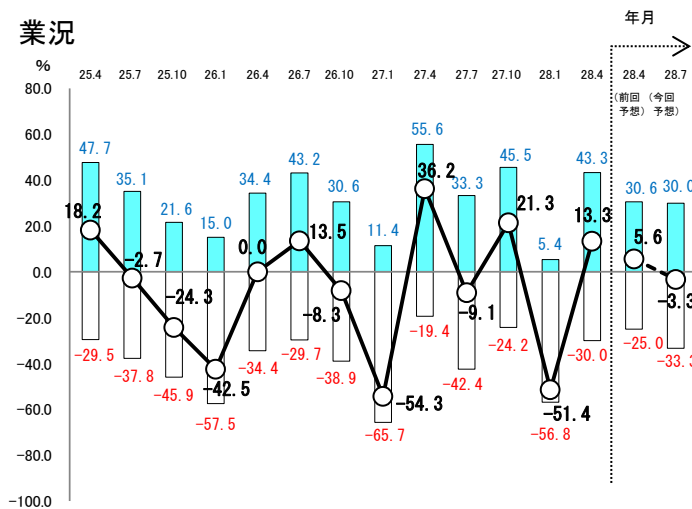


## 収益率

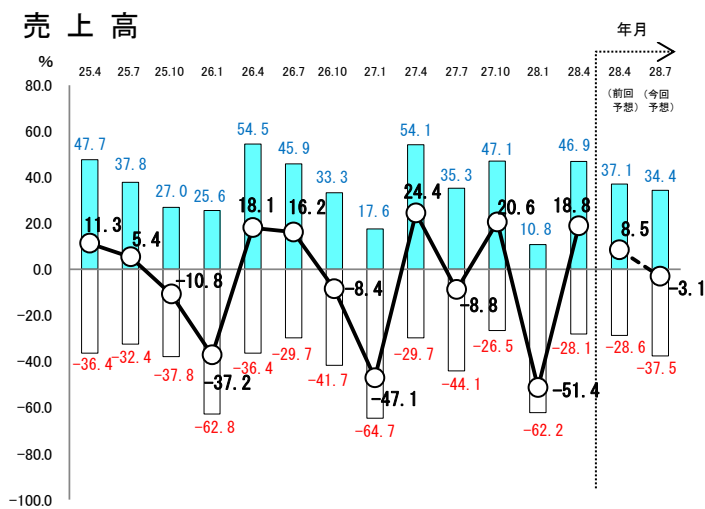


工 飲食業・宿泊業

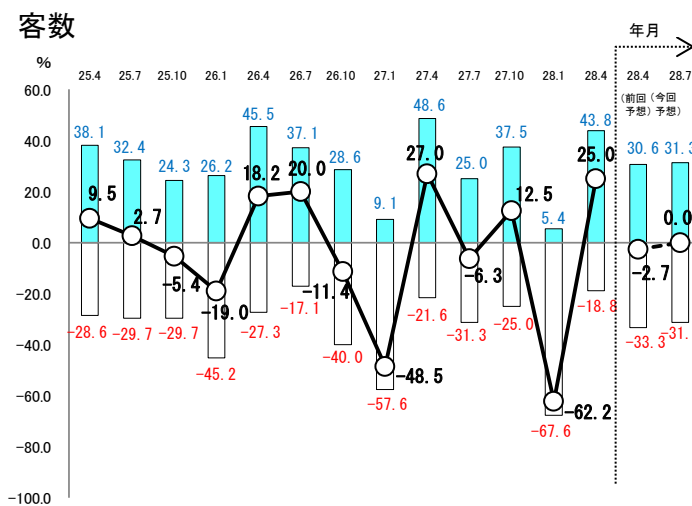
業況



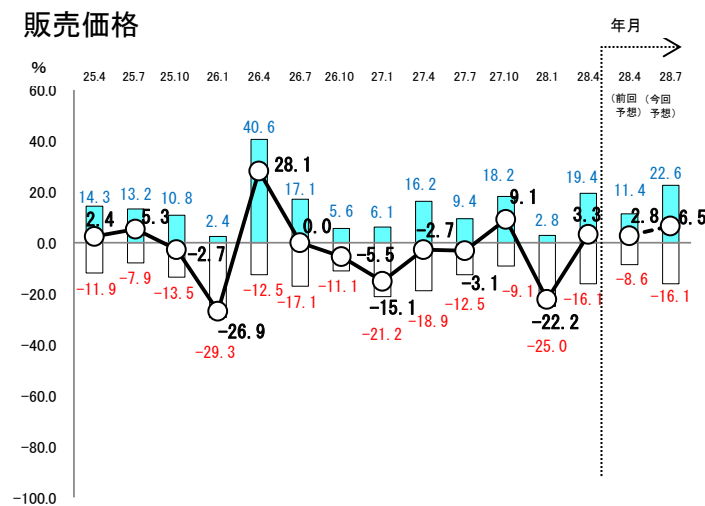
売上高



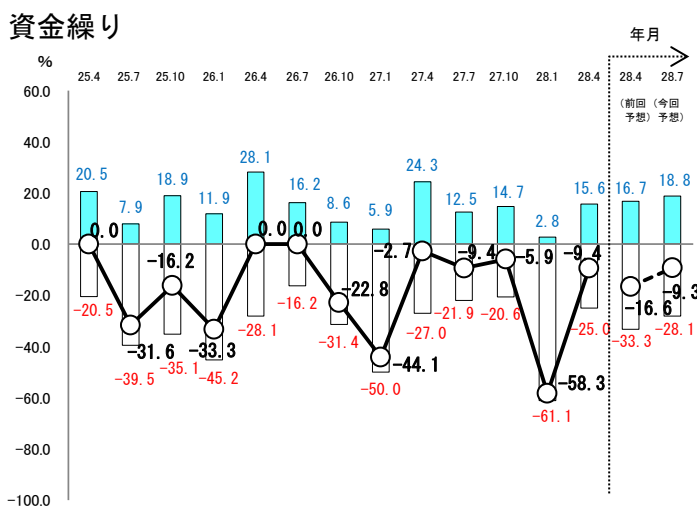
客数



販売価格



資金繰り



収益率

